

書くことが
楽しくなる!

読書感想文の 書き方

小学生のお子さまにとって、本を読んでその感想を書くということは、とても難しいものです。そもそも、文章を書くということ自体が得意ではないお子さまが多いのです。文章を書くことの最初の段階で、「難しく嫌だ」「面倒くさい」と感じさせないように、楽しい雰囲気を保ちながら、「書くこと」って楽しい!とチャレンジすることが大切です。

本を読み終えたお子さまに、いきなり感想文を書いてごらんとした場合、多くは「面白かった」と一行書いた後、困ってしまうのではないのでしょうか。いきなり原稿用紙に向かうのではなく、STEP①～④のポイントを押さえながら取り組んでみてください。



STEP 1

読んだ本の内容についてお子さまとお話することからスタートしましょう。「どんなお話だったの?」「●●さんはその時どんな気持ちだったんだろう」「じゃあ、あなただったらどうした?」というように、本の内容をあらすじで確認するのではなく、その物語に自分を置いてみて、「あなたならどうした?」と自分ならこうしたいという気持ちを聞いていくことが大切です。保護者様が、本の内容について教えてほしいという感じで、お子さまを先生に見立てて教えてもらうというスタンスで対応してみてください。この時に、いろいろ問いかけても、あまり感想が引き出せない場合には、保護者様が読んでどう思ったかを伝えてみるのもよいと思います。お子さまもつられて感想を言い始めることが多いです。

STEP 2

いろいろな感想が出てきたら、少し大きめの付箋を用意して「今話した内容を付箋に書いてみようか」と自由に、短文でよいので(心の動き・気持ち)を記入します。この時に大切なことは、ノートではなく付箋に書くことです。貼ったり剥がしたりできるようにして、感想文を書き始める準備を整えてあげましょう。思ったこと感じたことを、いくつでも付箋に書かせることが大切です。

STEP 3

慣れていないお子さまは、保護者様のかかわりが特に必要になります。ステップ②で記入した付箋を感想文として各順番に並べていく作業です。この作業は経験のないお子さまは一番苦しいところになります。その際は、お子さんと一緒にああでもない、こうでもないと一緒に作業することが大切です。お子さまとの会話で、さらに感想が膨らむことがあります。その際は、一番伝えたいことから順に並べると書きやすいと思います。

STEP 4

いよいよ文章にしていきます。付箋のそれぞれの内容の順番を考えて、順番に付箋を並べます。並べた付箋の内容がうまく繋がっていきように考えて文章にします。並び替えて大切なのは、一番はじめの内容と、最後の内容です。「出だし」と「終わり」をどうするか。そして付箋を並び替えて、文章をつなげてみましょう。つなげ方は、下記を参考にしてみてください。



<書き出し>

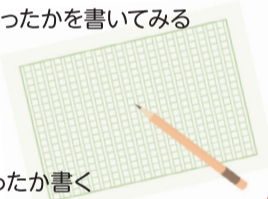
- ・この本を読んだきっかけ⇒「先生や友達に薦められた」「表紙が気に入った」「タイトルで読みたくなった」
- ・一番伝えたいことから書く⇒本の中で一番印象に残った言葉を使って書く
- ・本の内容を簡単に説明する⇒「この本は、○○が友達関係に悩むお話です」「この本は、○○が突然不思議な世界に連れられて冒険するお話です」

<なか>

- ・内容で、気になった部分などに対して自分はどう思ったかを書いてみる
- ・この場面は面白かった、みんなに教えてあげたい
- ・本に書いてある体験を自分もしたことがある

<結び>

- ・本を読んで強く感じたことを書く
- ・本を読む前と読んだ後で、自分の考えがどう変わったか書く



読書感想文には模範解答がありません。上手に書けなくてもSTEP①～④のポイントを押さえれば素敵な読書感想文に仕上がるはずですよ。ぜひ、本の魅力が伝わるように、心をこめて書いてみてくださいね。



読書のすすめ

ガウディアの国語教材に使用されている本を紹介します。夏休み、楽しい本の読書もお勧めですが、せっかくなので、普段なかなか触れる機会のない少しだけ難しい本を読んでみませんか。ぜひ本を読んで、それを題材に読書感想文を書いてみましょう。初めて読む本よりも身近で書きやすいかもしれませんね。

BOOK



低学年

作品名	著者名	出版社	教材
きゅうきゅうしゃのびぼくん	砂田弘	偕成社	K3 06 文しょうをよむ(1)
チロヌップのきつね	たかはしひろゆき	金の星社	K3 発展
ふうたんのうんどうかい	戸田和代	ポプラ社	K3 発展
おとうふ百ちようあぶらげ百まい	三田村信行	あかね書房	K4 11 ものがたり(4)
大きい1年生と小さな2年生	古田足日	偕成社	K4 11 ものがたり(4)
カバローの大きな口	戸田和代	ポプラ社	K4 発展
目をさませトラゴロウ	小沢 正	理論社	K4 発展
春の足音 那須正幹	那須正幹	ポプラ社	K4 発展
2年2組はいく先生 松井ばしょうくん	那須正幹	ポプラ社	K4 発展

中学年

作品名	著者名	出版社	教材
森のお店やさん	林原玉枝	アリス館	K5 03 物語(1)
なないろ山のひみつ	征矢かおる	福音館書店	K5 03 物語(1)
半日村	斎藤隆介	岩崎書店	K5 05 文の組み立て・物語(2)
ぼくのヘラオ変身日記	緒島英二	ポプラ社	K5 発展
宿題ごめんだ3年生「愛のむちっぺいうけれど」	長崎源之助	ポプラ社	K5 発展
より道はふしぎのはじまり	赤羽じゅんこ	文研出版	K6 02 物語①
幸せをはこび使者	日野多香子	岩崎書店	K6 02 物語①
村の小さな糸やさん	瀬尾七重	日本標準	K6 02 物語①
ラッキーセブン	最上一平	ポプラ社	K6 09 修飾語・物語②
風をおいかけて、海へ!	高森千穂	国土社	K6 09 修飾語・物語②
あぶくアキラのあわの旅	いとうひろし	理論社	K6 14 慣用句・物語③
河童のフウと夏休み	木暮正夫	岩崎書店	K6 17 物語④

高学年

作品名	著者名	出版社	教材
ハーフ	草野たき	ポプラ社	K7 02 物語①
コロボックル物語(1) だれも知らない小さな国	佐藤さとる	講談社	K7 02 物語①
よだかの星	宮沢賢治	偕成社	K7 07 言葉のきまり①・物語②
伊能忠敬 歩いてつくった日本地図	鈴木喜代春	岩崎書店	K7 10 言葉のきまり②・伝記
これからの出来事	星新一	新潮文庫	K7 13 物語③
きみの友だち	重松清	新潮文庫	K8 08 物語①
<子ども>のための哲学	永井均	講談社	K8 09 論説文
美乃里の夏	藤巻史絵	福音館書店	K8 16 物語②
バターサンドの夜	河合二湖	講談社	K8 16 物語②